



平成 25 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社コネクトホールディングス
代表取締役社長兼最高経営責任者
(CEO) 長倉 統己
(コード番号 3647 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員 経営管理本部長 矢野 浩司
(電話番号 03-3796-0650)

「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日公表の「平成25年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消することと致しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、前連結会計年度まで営業損失を計上していたため、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりましたが、前連結会計年度において、第4四半期連結会計期間における営業損益は大幅に改善し、営業キャッシュ・フローについては、第2四半期連結累計期間までの実績が76百万円のマイナスであったところ、前連結会計年度後半に大幅に改善し、通期実績では収支がほぼ均衡する水準までの回復を果たしました。

当連結会計年度におきましては、経営体制の変更及び事業の再構築により、当社の前身企業であるコネクトテクノロジーズの平成16年8月期(コネクトテクノロジーズ 第5期)以来の黒字決算を達成し、収益基盤が安定したことから営業利益は40百万円(前年同期は営業損失129百万円)と大幅に改善しました。経常利益におきましても、前第4四半期連結会計期間及び当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から第4四半期会計期間と連続して黒字を達成しております。

以上のように、既の実施している施策の効果が現れていることに加え、手元資金も十分確保されており資金繰りの目処もたっていることから、現時点で継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在しないものと判断し、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消することといたしました。

今後も収益力の強化と財務基盤の改善に取り組み、更なる業績向上と企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上